授業科目	心理学					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	水貝　洵子、杉本　有紗						
授業概要	心理学は、「人がなぜそのようにふるまうのか」といった心の仕組みを解き明かす学問である。本講義では、誰もがもっているのによくわからない”心”について解説する。						
授業形態	講義				授業方法		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	心理学の基本的な知識を理解し、説明することができる。 日常生活で経験する様々な現象に関心を持ち、心理学の知識と結びつけようと努力することができる。
理想的レベル	心理学の基本的な知識を理解し、現実場面での様々な問題を考えるときに応用することができる。 心理学の考え方や理論について、授業で学んだ内容を手がかりとして、さらに調べ、知識を広げることができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	100%	小レポート、最終レポート
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	CH10401J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
講義内容の復習をする。	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション 心理学とは何かについての概説と授業の進め方について（担当：杉本有紗）
第 2 回	感覚 感覚の働き、性質について解説する。（担当：杉本有紗）
第 3 回	知覚 注意の働き、知覚の働きについて解説する。（担当：杉本有紗）
第 4 回	記憶 記憶の過程、感覚記憶、短期記憶、長期記憶について解説する。（担当：杉本有紗）

第 5 回	学習 　新しい行動を身につけて環境に適応するための「学習」について解説する。（担当：杉本有紗）
第 6 回	動機づけ 　生理的動機づけ、社会的動機づけについて解説する。（担当：杉本有紗）
第 7 回	情動 　情動について解説する。（担当：杉本有紗）
第 8 回	ストレスとストレスコーピング 　ストレス、ストレスコーピングについて解説する。（担当：杉本有紗）
第 9 回	対人認知 　対人認知の過程について解説する。（担当：水貝洵子）
第 10 回	社会的態度 　態度形成、態度変容について解説する。（担当：水貝洵子）
第 11 回	対人コミュニケーション 　言語コミュニケーション、非言語コミュニケーションについて解説する。（担当：水貝洵子）
第 12 回	対人行動 　自己開示、自己呈示など人に向けての行動について解説する。（担当：水貝洵子）
第 13 回	人間関係 　人間関係の成立、維持、発展について解説する。（担当：水貝洵子）
第 14 回	集団と個人 　集団による個人への影響、個人による集団への影響について解説する。（担当：水貝洵子）
第 15 回	まとめ 　これまでの授業を振り返る。（担当：水貝洵子）
テキスト	指定しない
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『エッセンシャル心理学』長谷川千洋編　ナカニシヤ出版 『はじめて出会う　心理学』長谷川寿一、東條正城、大島尚、丹野義彦、廣中直行著　有斐閣 『図説　社会心理学入門』齊藤勇編著　誠信書房 その他、適宜紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	小レポートを返却する。
学生へのメッセージ・コメント	日常場面での体験と、授業で学んだ内容を結び付けてみてください。心理学を身近なものとして感じて興味を持ってほしいと思います。